

古賀市議議長 ぬま健司のニュースレター



ホームページ numakenji.jimdo.com/
Facebookも活用しています。
最新の情報やデータを発信しています。
ぜひご覧ください。私の政策・マニフェ
ストも随時アップしていきます。

ぬま健司後援会事務所
古賀市千鳥2-3-7 安部ビル103
電話/FAX 092(944)2639

健康寿命延伸による介護費用の節減効果

10年間で10億円!

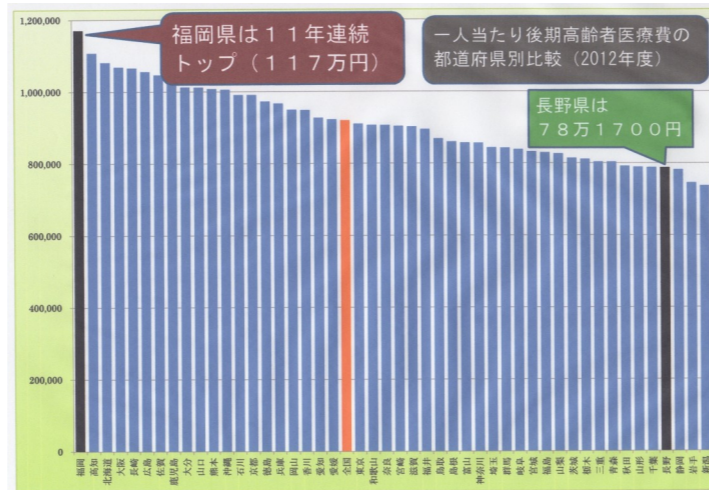
私の一般質問で明らかになりました 保健師や健康づくり推進員の拡充を!

1月26日の私の一般質問で、健康寿命延伸の取り組みによる介護費用の節減効果額が10年間でなんと10億円に上ることが明らかになりました。中村市長が答弁したもので、毎年1%ずつ介護を要する人を減らした場合の推計です。

この効果額が見込めるなら健康づくりに

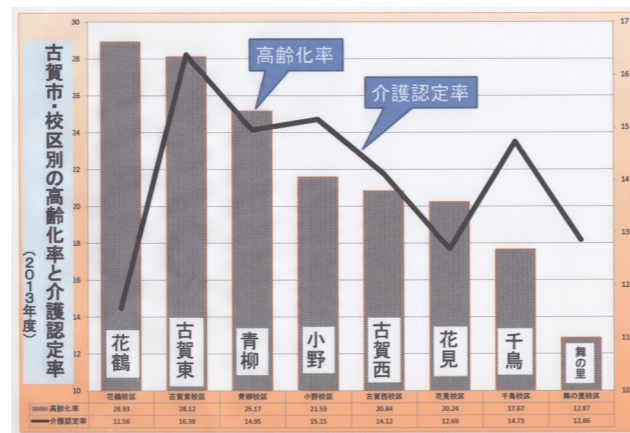
に関する先行投資が必要ではないかという私の提言に対し中村市長は「来年度予算は別として財政的に苦しくても先行投資をやるという考え方でいきたい」と答弁しました。

地域担当の保健師や各行政区単位の健康づくり推進員の確保に向けて予算を組むことを求めています。



●左のグラフを見て中村市長は「ショックだ。市民の健康状態と改善策を真剣に突き止め対策を講じる必要がある」とコメントしました。

▲グラフは75歳以上の1人あたり医療費の都道府県比較。福岡県は11年連続全国ワーストワンです。平均寿命全国1の長野県と比べて約40万円も高くなっています。古賀市は福岡県内60市町村中第19位です。



●左のグラフを見て中村市長は「非常に面白い統計。地域の高齢者支援も影響している。しっかり分析し、早急に対策を検討したい」とコメントしました。

▲グラフは古賀市内8小学校区の高齢化率(棒)と介護認定率(折れ線)。花鶴校区は高齢化率は高いのに介護認定率が低いという特徴があります。

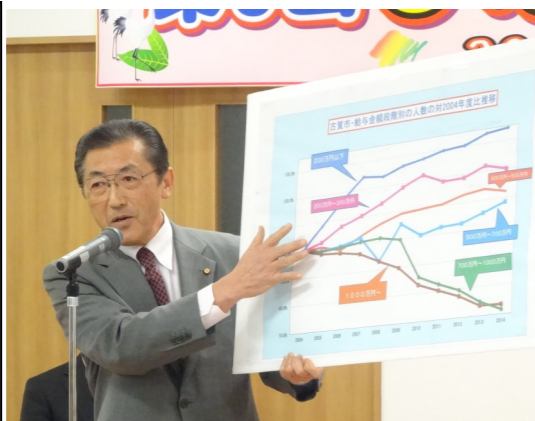
古賀市議会と福岡女学院看護大学 パートナーシップ協定を締結

▼2月24日、福岡女学院看護大学の西間三肇学長とパートナーシップ協定を締結。松尾和枝教授の記念講演を議場で行いました。大学の講師派遣による議会研修会や、大学生の意見発表などを企画します。



2015年度予算 過去最大の200億円規模 「地方創生」を言うなら、 健康づくり、公共交通、学校教育、子育て支援 にこそ予算を使うべき

- ▼私の重点課題▲
- ①健康寿命延伸の全市的取組み
- ②路線バスと小型バスによる新たな公共交通の実現
- ③生ゴミ分別、清掃工場見直し
- ④学校教育への人的配置の継続
- ⑤「まちづくり研究所」設立、最新データ・情報発信、人材育成
- ⑥議員・議会活動の更なる改革、議長経験を活かし政策提言の実行



200億円を越す2015年度の予算を審議する定例会が2月26日に開会。補正予算は国の経済対策を受け1億4千万円が盛り込まれました。「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に1354万円、プレミアム付き商品券に5500万円、

西鉄バス・グランドパス購入補助に2300万円等が計上。これらが本当に効果があるのか検証するとともに、「活用しても振り回されるな」という姿勢が必要だと思います。定例会は3月24日まで開かれます。しっかり議論し、決定します。

補正、当初予算の主な事業

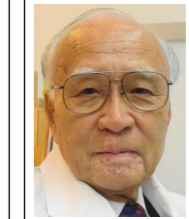
- 玄望園雇用創出基盤整備計画事業 2466万円(補正)
- 家庭ゴミ分別意識調査、バイオマス発電検討85万6千円(当初予算)
- 生涯学習センター建設工事等 12億9861万3千円(当初予算)
- 空き家、空き地調査 1350万円(補正)
- 市内公共交通網研究事業 8万4千円
- ヘルステーション設置支援60万円、歯周疾患検診159万2千円

私がぬま健司さんを政治家として尊敬し推奨理由。①常識人で平凡の中にキラリ非凡さをのぞかせている人②常に問題意識を持って行動する人③政治家に最も要求される知性、品性、清潔性をもった人④私生活では厳格な倫理観をもった人。利発で温かみのあるぬまさんは、市政と議会に必要と確信します。



ぬま健司後援会
会長 近藤 清志

ぬま健司議員には地域医療の問題に一生懸命取り組んでいただいています。高齢者が安心して住み続けるには医療・介護・福祉の連携が不可欠です。今後は住み慣れた自宅で療養し最期を迎えることも多くなります。ぬま議員は地域医療のために必要不可欠な方です。私も可能な限り応援するつもりです。



大岩胃腸外科
院長 大岩 俊夫



ぬま健司後援会のシンボルマークです。約20年間使っています。「ふれあいとぬくもりのある古賀市」が目標です。後援会への入会を呼びかけています。

ぬま健司のプロフィール

- 1952年4月17日生まれ
- 千葉大医学部中退。
- 1995年町議初当選。現在5期目。
- 2011年5月から古賀市議会議長。
- 2011年11月 自治功労者表彰を受賞
- 「千鳥が池を愛する会」で千鳥小の自然観察会を毎年サポートしています。
- 「地域医療と市民を結ぶ会」(大岩俊夫代表)の事務局長。「福岡東医療センター・在り方検討委員会」委員長。
- 「市民じち学校」で次世代育成に尽力。
- 妻(社会福祉士)、息子(義肢装具士)、娘(栄養士)の4人家族。
- 趣味 写真、軽登山、コカリナ演奏。

五島市議会で講演してきました 長崎新聞が報道しました

2月2日、私は長崎県五島市議会の議員研修会で古賀市議会での議会改革の経験について講演しました。長崎新聞はその結果を報道してくれました。古賀の経験が注目されています。



「脱焼却・バイオマス」で資源循環 2年以内に清掃工場の将来像を決定

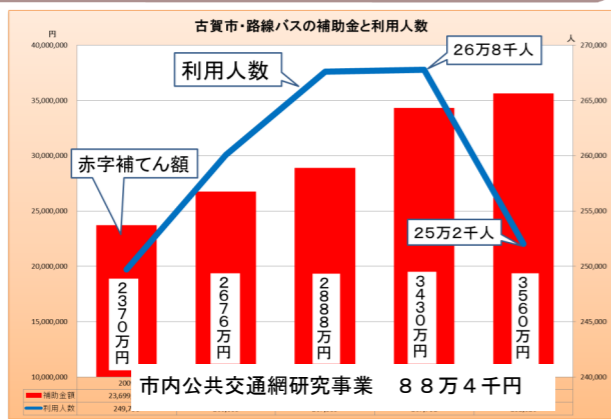
▼清掃工場に関する古賀市の負担金額は、過去10年間で約83億4千万円。市財政を圧迫してきました。●この反省に立ち、生ごみ資源化、広域処理、脱焼却による経費削減が必要。2018年中に清掃工場の今後の姿を決めます。



2015年度予算・家庭ゴミ分別意識調査、バイオマス発電検討 85万6千円
2016年度までに将来計画を決める清掃工場

路線バスとコミュニティバス 地方創生は地域公共交通から

▼利用しやすい公共交通の実現は多くの市民の強い願いです。健康づくり、地域活性化にも役立ちます。●路線バスと小型バスを組み合わせ、古賀市独自の交通体系を提言・実現します。国には財政支援を求めます。



解決迫られる赤字補てん増額と利用者の減少

学校教育と子育て支援 小中学校への市雇用の教員など配置 1億1700万円（2014年度予算）

- 小1プロブレム、スクールソーシャルワーカーなど市内小中学校への市独自の教職員配置（予算は約1億2千万円）を継続・発展させます。
- 保育所入所の基準改善を目指します。保護者がパートタイムでも入所しやすくするとともに、保護者が失業した場合も求職に必要な期間も預けられるよう基準の改善を低減します。（現在は20日間と短すぎる）

市民要望に応え、生活環境を整備 安全・安心、地域コミュニティ

▼県道・筑紫野古賀線は夜は真つ暗でした。地元区長や県議と協力して県に要望し、照明灯11基をついに実現しました。●安全・安心を守る市民の切実な要望に今後も全力で応えていきます。



千鳥、花見地区に合計11基の道路照明灯

▼花見小学校横の6300㎡の用地に公園整備。小学生や市民のワークショップでの声を反映させ、今年度中に実施設計、2016年3月完成見込み。●市民参画で、子どもも高齢者も楽しく過ごせるまちづくりを促進させます。



2015年度予算・1億4275万8千円



2015年度予算・1億1653万8千円
計画では駅前広場完成まであと3年~4年

▼千鳥駅前広場は2017年度の完成目指して取り組み中。千鳥駅の東西の狭い道路の拡幅も進行中です。●安全で快適な生活環境を実現し、定住化促進につながる魅力あるまちづくりを促進します。

議会改革度、県内第1位！

(日経新聞調査・2013年)

議長就任4年・チーム議会の成果
インターネット中継、議会基本条例、議会報告会を実現
看護大との連携など改革はさらに続く！



← 古賀市のホームページから議会中継や録画を見ることができるようになりました。2015年3月から予算特別委員会も中継・録画配信します。開かれた、政策提言力のある議会を目標に今後も引き続き頑張ります。



← 私は議長として500回近い挨拶をしました。フリップを使って古賀市の課題をわかりやすく説明する工夫もしました。情報やデータは、まちづくりの前提です。今後も情報発信に努めます。写真は成人式での挨拶です。



← 議員全員で議会としての初の報告会を3会場で開催しました。（昨年7月）今後も市民との意見交換を重視し、継続して取り組みます。写真はリープスプラザでの報告会です。

さらなる議会改革 取り組みは続きます！ 予算特別委のインターネット中継（3月） 災害時議会対応要綱の策定（3月）

- ①災害発生時に議員がどう行動すべきかを定める「議会災害対応要綱」と「行動マニュアル」を策定します。大きな災害が発生したときは議長が本部長となる対策本部を設置します。
- ②3月定例会では本会議に加え、予算特別委員会もインターネット中継します。今後は、スマホやiPadでも見られるよう検討します。
- ③常任委員会の所管事務調査を充実させ、政策提言につながるよう検討したいと思います。
- ④市民のモニター制度などを今後検討したいと思います。